

- る。
2. 委員会は5名の委員をもって組織する。委員は毎年1月理事長が会員の中よりこれを委嘱する。ただし委員は日本気象学会の他の賞の推薦委員と重複しても差し支えない。
 3. 委員会は原則として、気象学の境界・周辺及び、未開拓の分野における調査・研究・著述等により、気象学及び気象技術の向上に寄与しているもの1件を選び、6月末までに選定理由書をつけて理事長に報告する。
 4. 理事長は常任理事会にかけた後、全理事に対し無記名によってその可否を投票させる。全投票数は理事総数の4分の3以上でなければならない。有効投票のうち3分の2以上可とする得点があるものを受賞者と決定する。
 5. 堀内基金奨励賞は賞状および副賞（賞金）とし、原則として秋季大会でこれを贈呈する。

第39回科学講演会開催のお知らせ

主 催：財団法人東レ科学振興会
千葉県浦安市美浜一丁目8番1号(東レビル)
TEL. (0473) 50-6104

後 援：朝日新聞社

と き：平成元年10月4日(水) 入場無料
開場 17時30分
開演 18時00分, 終演 20時45分

と ころ：よみうりホール
東京都千代田区有楽町 1-11-1
読売会館(そごう)7階
(JR 線有楽町駅都庁口前)

テ ー マ：“これからの情報”
—学問・教育そして応用をめぐって—

I. 情報科学の体系を求めて
—技術から理論へ—
龍谷大学理工学部長 坂井利之
京都大学名誉教授

II. ソフトウェア科学の目標と新しい基礎付け
東北大学工学部教授 伊藤貴康
(情報工学科)